

- 管 内 釧路管内
- 分 類 避難訓練 危険対応能力 防災訓練 その他 ( )
- 教育課程 教科 ( )科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校 種 小学校(低) 小学校(中) 小学校(高) 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 総合的な学習の時間を中心とした防災学習を通じた、危険予測・危険回避能力の育成
- 地域の関係機関等と連携した防災宿泊訓練を通じた、共助の精神や危険対応能力の育成

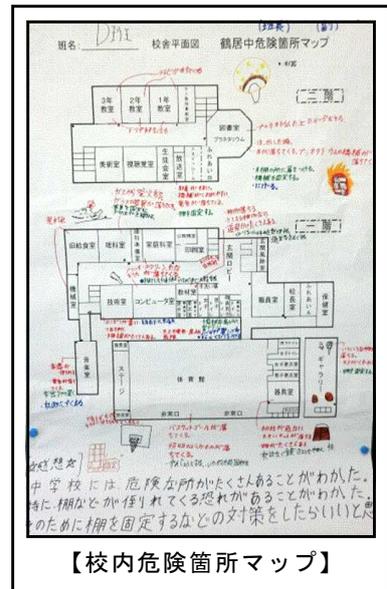
### 取組の実際

#### ねらい

- 災害時の避難行動は、状況によって変わることを理解し、いかなる状況下でも自ら考えて判断できる能力を育成する。
- 災害時において、学校に求められる役割を理解するとともに、中学生として避難所運営に貢献する実践的な能力を育成する。

#### 内 容

- 1 「総合的な学習の時間」における防災学習の取組
- (1) 校内の危険箇所調査及び校内の危険箇所マップの作成  
身近にある災害を調べ、その特徴や対策についてまとめた。さらに、地震発生時における校内の危険箇所を調べ、整理するとともに、考えられる対策を話し合い、校内の危険箇所マップを作成した。
- (2) 地域の防災施設及び防災設備の調査  
地域の防災施設及び防災設備並びに地域で安全を守る人々の業務内容について、調べたり体験したりするところを通じ、危険予測・危険回避能力を身に付けた。
- 2 地域の関係機関等と連携した防災宿泊訓練の取組
- (1) 避難所の設置・運営  
実際の災害を想定し、校舎内外に危険箇所がないことを確認した後、体育館に畳とパーティションで居住空間を設置したり、本部や食事場、炊事場などの共同空間を設置したりした。また、役場職員を講師に発電機やバルーンライト等の防災器具の操作実習を行い、避難所の運営について理解を深めた。
- (2) 炊き出し訓練  
屋外にテントを張って炊事場を設置し、炊き出し訓練を行った。断水したことを想定し、使用する水は村の給水車から確保するなど、具体的な場面に即した体験的な活動を行った。夕食時には、保護者等の地域民の受け入れも行った。



【校内危険箇所マップ】

#### 〈活動の実際〉



【パーティション設置】



【給水車からの給水】



【炊き出し訓練】

#### 成果と課題

- 地域の関係機関等と連携した防災宿泊体験や防災学習を実施したことにより、生徒に危険を予測し、自ら回避する能力を身に付けさせるとともに、共助に貢献する意識を醸成することができた。
- 安全に関する資質・能力を育成するため、各学年の発達の段階に応じた系統的な指導や各教科等を通じた教科等横断的な取組を充実する必要がある。